

楽しくまち歩きを！
「世田谷ぶらっと」

世田谷区内の自然や風景から街並み、お祭りや各種イベント、おみやげまで。まち歩きが楽しくなる情報満載のスマートフォン専用アプリ「世田谷ぶらっと」が完成！

現在地情報をもとに、地域風景資産などの魅力的なスポットを検索できる

「近くのせたぶらスポット」や、まち歩きモデルコースを探せる「世田谷めぐり」、世田谷にゆかりのある自慢の商品「世田谷みやげ」のお店検索等、色んな情報を取得する事ができます。

また、「みんなのせたぶら写真館」では、自分が見つけた世田谷の魅力を写真に撮って投稿して、「世田谷ぶらっと」を使っている多くの人と共有できます。心に留まる素敵な風景を見つけたら、是非みんなとシェアしてください！

[アプリのダウンロード]

世田谷ぶらっと 検索 または



公益財団法人世田谷区産業振興公社
電話：3411-6715 FAX：3412-2340

大好評！
せたがや風景MAPを追加配布中

前号でもご紹介した、地域風景資産やせたがや百景をはじめ、世田谷区内の素敵な風景スポットを掲載した「せたがや風景MAP」。大変ご好評をいただいております。現在、世田谷区役所をはじめ、各公共施設で追加配布中です。

携帯できる地図を片手に、世田谷区の魅力的な風景を探しに出かけませんか？

三田用水の取水口跡

せたがやの隠れた風景 13

京王線笹塚駅の南側、玉川上水の笹塚橋付近に、三田用水の名残を見ることができます。

三田用水は、寛文4年(1664)に上水を目的に開削され、この場所で玉川上水から取水し、現在の港区三田方面に流れていました。一説には、五代将軍綱吉の別邸・白金御殿のために開削されたと言われています。御殿が消失したためか、享保7年(1722)に上水は廃止されました。しかし、余水を灌漑用水として利用していた付近の農村から用水への転用願いがあり、三田用水となります。

下流域が市街化し、灌漑用水としての使命が終わった後は、現在の恵比寿にあるエビスビール工場の用水等に使用されていました。戦後には利用が減少し廃止されました。



写真右手の階段辺りに取水口がありました

三田用水の取水口跡 北沢5丁目 34番先

いつかの風景
ここはどこ？



建設中の小学校を背に、ゆったりとした小川の流れ。昭和20年代の風景です。この小川は今では暗渠となり、緑道に変わっていますが、いったいどの緑道でしょうか？ ※答えは3ページ

風景づくりについてのお問い合わせは…「世田谷区都市整備部都市デザイン課」へ

〒154-8504 東京都世田谷区世田谷4-21-27

電話：5432-2039 FAX：5432-3023

バックナンバーは 世田谷区 風景づくり通信 検索

せたがや 風景 × ひと × 活動
風景PRESS



やさしさをとことん追求した梅ヶ丘を中心としたまちづくり

世田谷区の都市デザインを巡る vol. 6

“やさしさ”の視点から生まれた
梅ヶ丘駅周辺のまち



梅ヶ丘中学校へのスロープが設けられたふれあい通りの空間

小田急線梅ヶ丘駅周辺では昭和57年から「参加と福祉」の視点によるまちづくりが進められています。昭和62年からは「やさしいまちづくり」として、計画段階から住民と区が話し合い、梅ヶ丘中学校や光明養護学校の前を「ふれあい通り」と呼び、「電柱などを整理する」「通行できる幅を広く確保する」「段差をなくす」「楽しく歩けるように色彩や形状をデザインする」という、誰もが安全で快適に歩ける歩道づくりが提案されました。

まちへの具体的な反映にあたっては、車イスのまま入ることのできる電話ボックスの実物大模型を作り、使い勝手を検証する公開実験を行ったり、地域の学校とのコラボレーションで作った草花タイルやサギ草



実物大の電話ボックス模型で使い勝手の検討が行われました

のモザイクを歩道や壁に設置したりと、参加によるデザインがなされました。また、建物の敷地と道路を一体的に整備する手法も取られています。

時代の流れから、電話ボックスの公衆電話が撤去される等の変化はありますが、「やさしいまちづくり」の考え方は、豪徳寺駅や山下駅へと広がり、多くの方が暮らしやすいまちづくりとして、将来にわたり続いていきます。



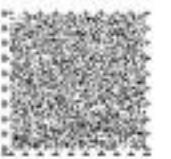
ふれあい通りと繋がる北沢川緑道



光明養護学校前の辻広場には学生作のビー玉モザイクがあります

2 ページ 世田谷都市デザインフォーラム 2015 開催

4 ページ 風景コラム・イベントカレンダー 世田谷区の風景づくり情報



世田谷都市デザインフォーラム 2015

出かけよう!
あなた流の
スタイルで

様々な視点から魅力的なまちのデザインについて参加者の皆さんと考える「世田谷都市デザインフォーラム 2015」を、平成 27 年 3 月 7 日（土）に代田区民センターで開催し、57 名の皆さんにご参加いただきました。第 1 部はまちの見方を視点の違いから考

える講演会、第 2 部は区の「都市デザイン」への取り組みのご紹介、そして第 3 部は区内の身近な「お出かけスポット」について、参加者の皆さんと意見交換を行いました。ここでは第 1 部、第 3 部についてご紹介します。



風景
づくり
百話
第 51 話

講演 「出かけ」の達人にきく「まち」へのアプローチ

まちあるきをもっと楽しくするツール —地図やカメラで路上から再発見するまち—

講師：石川 初氏（東京スリパチ学会 副会長）



設計事務所でランドスケープのデザインに携わる傍ら、地形歩きグループ「東京スリパチ学会」の副会長として地形や植物など様々なものを通して東京の発見的な街歩きを行っている。GPS 受信機を持って街に巨大な絵を描いて歩く、自称「GPS 地上絵師」。

ただ街を歩くのではなく、ツールを持って歩くことで新しい発見がある。「街の見方」を変えるツールを紹介します。

【時層写真】 古い昔の写真にある風景と同じ場所を探し、その写真と重ね合わせるようにして撮影する「時層写真」という手法では、アナログな「写真」に刻印された固有の場所と時間を追体験することができます。祖母の映った写真を同じ場所で撮った時、半世紀前にそこでシャッターを切った祖父と自分が地続きであることを感じました。

【街とコミット】 街中の雑草を収穫して食べる等、街と自分の新しい接点をつくることで街への関わり方も変化します。家と会社を歩き来する日常の中、足下の素材、階段等の高低差、移動スピード、路上や駅等で発信している情報等を細かく調べると新しい発見があります。

【GPS受信機】 GPS受信機というツールがあります。人工衛星を介して自分のいる時間と現在位置を記録していくもので、驚くほど正確に把握できます。2001 年から「ヒトログ」として自分の移動記録を取り、専用のソフトで分析しています。また、家ではいつもおとなしくしている猫に GPS を取り付け、「ネコログ」という記録を取ってみたいところ、半径 2km の行動範囲を、自由に移動していました。自分の記録と比較すると、人は道路や駅、建物などの社会制度をなぞらえているのに対し、猫は道路とは関係なく、人の家の庭や塀の上など、おそらく私が一生目撃することのない土地を移動していることがわかりました。

スマートフォンにも GPS はありますが、それに気を取られ、街ではなくデジタル地図の上を歩かされては本末転倒です。GPS を使い、自分の意思で線を書いていくように歩くことが大切です。高低差を感じながら街を歩き、谷底を発見し、そこがどのように形成されたのか考える。そんなツールの活用が面白いのではないのでしょうか？

だれもが気兼ねなく出かけられるための 4 つの視点

講師：金子 健二氏（NPO 法人 Check 代表理事）



私は、旅行会社に勤めている時に、車椅子等で移動が困難な人がいることを知り、NPO を立ち上げて、インターネット上に多機能トイレマップをつくる活動をはじめました。全国のトイレスポットマニアが情報を送ってくれることにより、現在全国の 7~8 割をカバーするまでになり、自動車のカーナビとの連携も進めています。

だれもが街に出て街を楽しむためには何が大切でしょうか。

①トイレ、②移動手段、③バリアフリー、④食事対応の 4 つの視点です。しかし、自治体や民間施設が扱う情報はバラバラで、必要な情報の入手は容易ではありません。この 4 つの視点で街を捉え、情報の置き場所を考えることが大切です。

旅行会社に勤務する中で、介護福祉旅行の根本的な課題に気づき、2008 年に NPO 法人 Check を立ち上げ、全国の多機能トイレ情報共有サービス「Check A Toilet」の運営、花火大会・お祭りなど、大規模イベントのユニバーサル化のコンサルタントを行う。

意見交換 身近な「お出かけスポット」を見つけよう



第 3 部では、参加者の投票で上位となった 5ヶ所の区内オススメ「お出かけスポット」について、その魅力やコマーシャルコメントを考え発表するグループワークを行い、身近な地域の魅力を再発見しました。

グループワーク後、その成果を踏まえ、1 人 2 票の最終投票を行うと、以下のようになりました。

- 緑道…烏山川、北沢川、呑川 (22 票)
- 等々力溪谷 (16 票)
- 羽根木公園 (16 票)
- 砧公園 (14 票)
- 松陰神社周辺 (12 票)

講師からは、「緑道は世田谷全体をつなぐもの、それぞれの人にとって身近に思う緑道がある。等々力溪谷は、名前が地形を表している。名前があることは重要で、ただの谷ではない価値が生まれた。砧公園は公園自体、羽根木公園はマネジメントがその魅力だと思われていることがわかる。松陰神社周辺は区役所が近いこともあり、人生の節目に子どもからお年寄りまでが接することによる魅力の共有がある。いずれの場所も、誰もが利用しやすく整備されている。」とコメントをいただきました。

この結果は平成 27 年度のまちあるきに活かしていく予定です。